

## 精神科神経科心身症科カリキュラム

### I. 目的と特徴

精神疾患の頻度は高く、臨床医は、どの診療科においても精神症状を併せ持つ患者の診療に携わる。そのために必要な知識と経験を身に付けることが目的である。また、患者を心身一如の存在として全人的に診療する習慣を養うことも目的としている。

### II. 研修責任者

大森 哲郎 教授 (精神保健指定医、日本精神神経学会認定専門医兼指導医、  
日本臨床精神神経薬理学会認定専門医兼指導医)

### III. 運営指導体制および指導医数

研修医の指導に当たる体制は、指導医の他上級医が配置され、屋根瓦式の指導体制を引く。そのため、同時に研修を行うのは3名程度が望ましい。年間にして40名程度である。

上級医は、教授1名、准教授1名、指導医は助教6名、特任助教2名である。これに保健学科より教授1名と保健管理センターより准教授1名が加わる。そのうち精神保健指定医は12名、日本精神神経学会認定専門医は10名、日本精神神経学会認定指導医は3名、日本臨床精神神経薬理学会認定専門医兼指導医1名、日本臨床精神神経学会認定専門医1名、日本児童青年精神医学会認定児童精神科医は1名である。指導医講習会修了者数は3名である。

### IV. 臨床実績

外来患者数は1日に100人程度、入院患者総数は1年に200人程度である。診療対象としている精神疾患としては、統合失調症、気分障害(うつ病、双極性障害)、不安障害、摂食障害、てんかん、児童青年期精神疾患、老年期精神疾患など多岐にわたっている。治療法としては、薬物療法、心理社会的治療を中心に行っている。入院例では適応があれば修正型電気痙攣療法も行っている。

### V. 研修目標

徳島大学医学部歯学部附属病院では、平成14年12月11日に出された厚生労働省の「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令」に基づき卒後教育課程を設けている。本カリキュラムは、その研修プログラムに則り行われるものである。

#### 【一般目標】

- 1) プライマリーケアに求められる精神症状の診断と治療技術を身に付ける。
- 2) 身体疾患を有する患者の精神症状の評価と治療技術を身に付ける。
- 3) 医療コミュニケーション技術を身に付ける。

- 4) 他科、他職種、他病院との連携のための技術を身に付ける。
- 5) 精神科リハビリテーションや地域支援体制を理解し、経験する。

#### 【行動目標】

- 1) 基本的な身体診察法（神経学的所見、精神医学的所見）を習得し、臨床検査所見（CT、MRI、SPECT、脳波など）を判断する。
- 2) 頻度の高い精神症状（不眠、不安、抑うつ、幻覚、妄想）を把握する。
- 3) 緊急を要する精神症状（意識障害、精神科救急）とその対処法を習得する。
- 4) 経験が求められる疾患について理解を深める。
  - A：疾患について入院患者を受け持ち、診断、検査、治療方針について症例レポートを提出するもの。認知症（血管性を含む）、気分障害（うつ病、双極性障害）、統合失調症
  - B：疾患については、外来診療または受け持ち入院患者で自ら経験するもの。身体表現性障害、ストレス関連障害

## VI. 研修内容

マンツーマン方式に加え、クルズスなど時間枠方式を併用する。

### 1) 入院診療

マンツーマン方式で行う。患者の副主治医となり、毎日診察し、検査所見を解釈し、指導医と相談協議しながら、治療方針を決定する。患者と家族への治療方針の伝達や症状の説明も重視する。担当患者の入退院に際しては、症例の要約を作成し、全体会での症例提示を行う。受け持ち患者は、気分障害、統合失調症、認知症を含む数例である。

### 2) 外来診療

新患者については予診を取り、本診察に立会い、診察終了後に診察医と質疑応答する。出来る限り、その患者の再診にも加わり経過を観察する。また、他科往診に同行し、リエゾン・コンサルテーション精神医学を習得する。

### 3) 精神科リハビリテーション

精神科作業療法およびデイケアに準スタッフとして参加する。

### 4) 検討会および勉強会

症例検討会、病棟のコメディカルスタッフとのミーティング、クルズスに参加する。

これらの実地研修を通し、臨床医として必要な精神疾患の診断と治療に関する知識と技能を習得し、患者を全人的にとらえる習慣を身に付ける。

## VII. 研修スケジュール

午前は外来での研修、午後は病棟研修となる。週に一回の病棟回診、新入院患者紹介、症例検討会、および臨床検討会へ参加する。週一日は、リハビリテーション療法に加わる。

外来研修	: 月曜日～金曜日	午前
病棟研修	: 月曜日～金曜日	午後
教授回診、新入院患者紹介、症例検討会	: 火曜日	午後
臨床検討会	: 水曜日	午後

## VIII. 評価法

精神科に所属する全職員の意見を参考に、指導医が教員会議にて行う。